

令和6年度第3回岡崎市地域公共交通会議 会議録

1 開催及び閉会に関する事項

令和6年10月11日（金）16時10分～17時40分

2 開催場所

岡崎市役所西庁舎7階西701号室

3 出席者氏名

(1) 出席者（19名）

松本	幸正	委員	（名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授）
松尾	幸二郎	委員	（豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授）
豊田	智隆	委員	（東海旅客鉄道株式会社）
高井	勇輔	委員	（名古屋鉄道（株））
寺澤	秀樹	委員	（愛知環状鉄道（株））
後藤	泰之	委員	（名鉄バス（株））
玉置	文博	委員	（名鉄東部交通（株））
浅岡	林平	委員	（愛知県タクシー協会岡崎支部）
徳田	裕二	委員	（（公社）愛知県バス協会）
猿渡	博士	委員	（愛知県交通運輸産業労働組合協議会）
長坂	秀志	委員	（岡崎市総代会連絡協議会）
鷺山	幸男	委員	（岡崎市老人クラブ連合会）
松原	秀敏	委員	（六ツ美中部学区エリアバス運営協議会）
鈴木	勝彦	委員	（額田地域生活交通協議会）
江川	晃平	委員	（国土交通省 中部運輸局）
渥美	宏	委員	（国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局）
石屋	義道	委員	（愛知県都市・交通局交通対策課）
能登谷	敦	委員	（愛知県 西三河建設事務所 維持管理課）
山本	公德	委員	（岡崎市 副市長）

(2) 出席者（意思表明書提出 3名）

多々内	丈雄	委員	（岡崎商工会議所）
浅野	宗夫	委員	（岡崎市障がい者福祉団体連合会）
山口	幸治	委員	（愛知県警察 岡崎警察署）

4 説明等のため出席した事務局職員の職氏名

岡田 晃典（総合政策部長） 木下 政樹（地域創生課長） 竹内 雅晴（主任主査）

熊谷 大輝（主事） 安藤 星哉（主事） 安藤 寛人（事務員）

5 傍聴者、随行者等

6 名

6 報告事項

(1) 令和 6 年度予算の流用について

資料 1 に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

特に意見なし。

(2) 電動キックボードの実証実験について

資料 2 に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

委員： 事故が起こった場合、電動キックボードに乗っている人が負傷者になると思われる。負傷している中で、警察や管理会社に連絡することは出来ないのではないか。

事務局： 本人が連絡することが出来ない場合は、通常の自転車事故等と同じように周りの人に助けてもらうことを想定している。

委員： 事故が起きた場合に、貸出しのキックボードと判断できるか。また、キックボードの運転が交通ルールに沿っていないかたも見かけるため、交通安全啓発はしっかりして欲しい。警察に情報は提供しているか。

事務局： Luup のロゴがあるため、Luup を認識している場合は、貸出キックボードと分かる。事故が起きないように、交通安全はしっかり啓発していく。警察には、貸出事業を行うと報告している。

委員： 事実として、実証実験開始から 1 か月で事故の発生や苦情の声は届いているか。

事務局： 今のところ事故の発生はなく、苦情の声も届いていない。

委員： 今後交通安全啓発として、考えていることはあるか。

事務局： 時期は決まっていないが、試乗会の開催を検討している。

委員： 試乗会はいいい機会なので、是非開催していただきたい。また、試乗会も大事だが、電動キックボードは一方通行の道も一定の条件下で走行できるので、市内のどこが走行できて、どこが走行できないのかを広く周知することが大事。

事務局： 周知方法については検討を進めていく。

委員： 資料の禁止事項は抜粋されたものという認識でよいか。携帯を見ながらの運転等も許されるようにとらえられる。また、籠田公園と岡崎公園の 2 つのポートで電動キックボードの返却に偏りがあるのか認識していれば教えて欲しい。

事務局： 禁止事項は抜粋されたものを記載している。確かに、国土交通省の資料にも携帯

を見ながらの運行は禁止事項と記載されている。電動キックボードの返却については、岡崎公園で借りて、岡崎公園に返却されたのが3割、籠田公園で借りて、籠田公園で返却されたのが3割、岡崎公園で借りて、籠田公園で返却される又は籠田公園で借りて岡崎公園で返却されたのが3割となっており、現在はバランスよく電動キックボードが返却されている。

委員： 電動キックボードのポート場所として、名鉄東岡崎駅はないのか。

事務局： 実証実験とは別に Luup の完全な民間事業として、名鉄東岡崎駅付近のレンタカー屋さんとホテル小柳津という東海オンエア絡みの場所にポートは設置されている。

(3) 公共ライドシェア導入に関する調査・検討について

資料3に基づき説明

＜以下、各委員の意見等＞

委員： 山吉田ふれあい交通の運転手はどういった人が協力していたか。

事務局： 退職された人がほとんどであった。地域もあの人は来年退職されるという情報から、運転手協力に声かけをしているとのこと。また、将来利用するだろうということで、退職される前から自主的に運転手をされる人もいた。

(4) おかざきスマートムーブアクション 2024 の進捗状況について

資料4に基づき説明

＜以下、各委員の意見等＞

委員： フォトコンテストについて、どうしてもいい写真を撮ろうとして、運行中に立ち上がって写真を撮られる人がでてくる恐れがある。注意喚起もしっかりして欲しい。

事務局： 車内での安全を確保するために、注意喚起はしっかりしていく。

委員： わくわくカードがあれば無料で乗れるというのはすごくいい取組みである。いつ配られるものなのか。

事務局： わくわくカードについては、既に配られている。わくわくカードを見せると市内のこども美術館等も無料で入ることができるなど、普段から使用されている。

委員： エコ通勤をする際に、仕事を考えるとこのバスでは間に合わないのだから車両を使用する人も出てくると思う。そういった人の声も集計するとよい。時差通勤などで対応できるのであれば、時差通勤を推奨することによってよいと思うが。

事務局： 本市も時差通勤の制度があるので、エコ通勤の日には時差通勤を推奨していく。効果検証の中で、時間をずらして使ったか、公共交通を使ってみてどうだったか及び継続して公共交通を使っていけそうかなどを聞いていきたい。

(5) 名鉄バスの高齢者パス購入費用の補助について

資料 5 に基づき説明

＜以下、各委員の意見等＞

委員： 当日のバスの利用実態を把握したいとのことだったが、現在の料金箱では、ＩＣカードデータから、どここのバス停で何人乗ったという情報しか吸い上げることができない。順次導入している新しい料金箱が岡崎地区に導入されれば、どここのバス停で乗車され、どこで降車されたかが把握できるようになるので、もうしばらく詳細データについては待つて欲しい。

事務局： バスの利用実態は当日以外にも情報提供いただけるとありがたい。

7 その他

岡崎警察署移転に伴うバス停留所新設について説明

どらなび EXP02024 秋について説明

8 連絡事項

次回会議（令和 6 年度第 4 回）予定について連絡をした。

— 会 議 終 了 —